

東大病院との「新型コロナウイルス感染症重症化予測システム」

開発委託契約締結のお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:佐野 嘉彦)は、2021年8月23日付にて、東京大学医学部附属病院(以下「東大病院」)と、人工知能で開発したアルゴリズム解析による「新型コロナウイルス感染症重症化予測システム」(以下、本システム)の医療機器プログラム*承認と上市を目的とした開発委託契約を締結したことを、お知らせいたします。

本システムは、患者さまの基礎項目とバイタルサイン、血液検査結果を入力することで、人工知能で開発したアルゴリズムが新型コロナウイルス感染症の重症化リスク予測を可能とするものです。

医療体制が逼迫する昨今、東大病院では本システムの医療機器プログラム上市に先立ち、新型コロナウイルス感染症の重症化予測サービス(「COVID-19重症度予測サービス」)を開始し、ニプロは当サービスにおけるユーザーインターフェース開発を担当しました。本システムは、医療崩壊の防止を支援するため、早期の医療機器プログラム承認および実用化を目指して開発を進めてまいります。

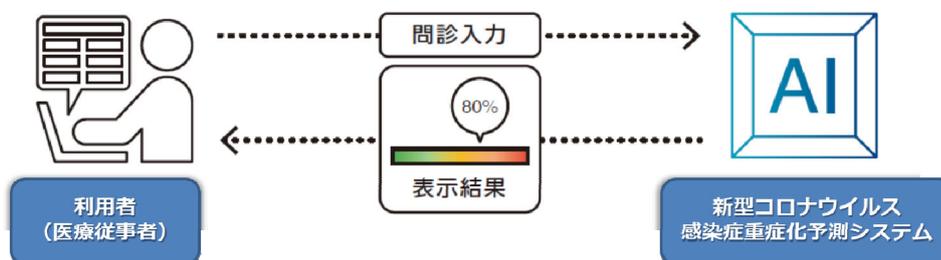
なお、本システムの開発は国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)における委託研究開発として実施いたします。

※ 医療機器プログラム…従来の医療機器と同様に、疾病の診断や治療を目的とした単体プログラムのこと。

新型コロナウイルス感染症重症化予測システムの構想

利用者が所定の間診を入力し、解析を実施

機械学習で生成したアルゴリズムを用いて解析を行い、重症化のリスクをパーセンテージで表示



▲システムフローイメージ

お問い合わせ先

リリースの内容に関するご照会: 広報担当

TEL 06-6375-6700

本製品に関するご照会 : 検査商品開発・技術営業部

TEL 06-6373-3168

※受付時間 9時~17時45分(土・日・祝日・当社休業日を除く)